



平成28年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンオータス
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 北野 俊
 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第3四半期の連結業績(平成27年5月1日～平成28年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第3四半期	24,442	△15.2	△188	—	△171	—	△226	—
27年4月期第3四半期	28,828	△5.1	△387	—	△371	—	△328	—

(注) 包括利益 28年4月期第3四半期 △244百万円 (—%) 27年4月期第3四半期 △330百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年4月期第3四半期	△72.32	—	—	—
27年4月期第3四半期	△104.89	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第3四半期	14,607	—	3,002	—	—	20.5
27年4月期	14,775	—	3,278	—	—	22.2

(参考) 自己資本 28年4月期第3四半期 3,000百万円 27年4月期 3,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年4月期	—	0.00	—	—	—
28年4月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	31,500	△16.5	△100	—	△100	—	△160	—	△51.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年4月期3Q	3,230,500 株	27年4月期	3,230,500 株
② 期末自己株式数	28年4月期3Q	97,964 株	27年4月期	97,911 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年4月期3Q	3,132,549 株	27年4月期3Q	3,133,309 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策により、企業業績や雇用環境に改善が見られましたが、中東情勢の悪化や中国をはじめとする新興国の景気減速による生産・輸出の伸びの鈍化に加え、株価の下落や原油価格の下落、および外国為替市場における円相場の不安定な動き等もあり、景気の回復は依然として不透明な環境で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、三カ年の中期経営計画の最終年度として「トータルカーサービス」から「トータルライフサービス」への発展的な変革を行うため、生活関連事業の拡大強化を図り、お客様が抱える諸課題と多様なニーズにお応えできるサービス体制の構築に努めました。また、新規顧客の獲得強化とお客様満足度向上による顧客の固定化に取り組むとともに、経営全般にわたる効率化を積極的に推進しました。

しかしながら、当社グループ事業におきましては、原油価格下落による石油製品価格の低下や不安定な景気動向に伴う需要が減少するなかで、販売価格による顧客獲得競争が一段と激化するなど、厳しい経営環境下におかれましては。

その結果、売上高は24,442百万円（前年同四半期比4,385百万円減収、15.2%減少）、営業損失188百万円（前年同四半期は387百万円の営業損失）、経常損失171百万円（前年同四半期は371百万円の経常損失）を計上し、法人税等負担後の親会社に帰属する四半期純損失は226百万円（前年同四半期は328百万円の親会社に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

① エネルギー事業（石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備）

石油製品販売部門の売上数量は前年同期比107%と好調に推移いたしました。原油価格の下落に伴う需要の拡大はあったものの、ガソリン価格は前年比で約30円の急速な価格低下の結果、大幅な減収となりました。顧客数拡大に向けて、ENEOSカード・Tカードの新規発券の取り組みに加え、タイヤ・コーティング洗車・メンテナンス商材の充実化と点検サービスのアプローチを徹底するなど、お客様満足度向上に努めました。車検部門ではSSと連携した販売促進の実施効果から環境車検の生産台数は対前年比107%と好調に推移しました。

損益面では、原油価格の下落による燃料油価格が急速に低下した結果、適正なマージンの確保は困難な状況となり、引き続きセグメント損失を計上することとなりました。

この結果、売上高は9,556百万円（前年同四半期比4,460百万円減収）、セグメント損失は84百万円（前年同四半期はセグメント損失69百万円）となりました。

今後の中長期的な需要動向を鑑み、低採算・不採算SSの見直しを実施し採算の改善を進めております。また一方で、「ENEOSでんき」販売の取り組みや神奈川県スマートエネルギー施策に協調した太陽光発電システムの導入を通じて、新エネルギーへの取り組みを行いながら採算の改善を追求してまいります。

② カービジネス事業（BMW、プジョー、フォードの輸入車正規ディーラー、オリックス・レンタカー）

輸入車販売業界は平成27年秋に判明したフォルクスワーゲン社の排ガス問題により、厳しい状況が予想されましたが、平成27年4月～平成28年1月における国内の輸入車新車販売台数は前年同期と比べ増加となりました。

当社の主力であるBMW販売部門の売上につきましては、ショッピングモールへの出張展示会を展開し新規ユーザーの取り込みを行うとともに、既存ユーザーの買い替え提案を積極的に行った結果、新車、中古車ともに販売台数は前年を上回り、消費税増税前の状態に戻つつあります。損益面は、対前期比では大幅に改善したものの、他社とのブランド競争と価格競争による粗利率の低下や車検到来台数の減少などにより、厳しい収益状況となりました。今後については、NEW X1、NEW 7シリーズ、主力車種である3シリーズのエコカーPHEVの投入が、売上・損益ともにBMW販売部門を牽引していくものと期待されます。

また、当社グループの輸入車ブランドの一つであるフォードが平成28年末をもって日本市場からの撤退表明があり、今後は同車種のアフターフォローを実施しながら、BMW、プジョーの販売強化に注力し、輸入車販売事業の業容維持拡大を図ってまいります。

レンタカーにつきましては、顧客の獲得競争が激化する中、CS向上のため新車の積極的な車両入替を行いながら、法人新規先開拓や既存ユーザーの囲い込みに注力いたしました。

この結果、売上高は14,513百万円（前年同四半期比3百万円増収）、セグメント損失は55百万円（前年同四半期はセグメント損失218百万円）となりました。

③ ライフサポート事業（損害保険・生命保険募集業務、訪問介護サービス、アミューズメント・カフェ）

保険部門では、現在4店舗の来店型保険ショップ『ほけんの窓口』を展開し、店舗の認知活動による集客力の強化に取り組み、来店客数は好調に推移しました。また、人材育成によるお客様へのコンサルティング営業の強化を図り、成約率の向上に努めました。

ライフサポート事業につきましては、生活関連事業の拡大強化を図るため、ほけんの窓口店の開設に伴う人件費および販管費の先行負担によりセグメント損失を計上してきましたが、相談顧客数の伸長に伴う成約件数の増加にてコストを吸収し、順調に採算改善が実現しつつあり、将来に繋がる安定収益の確保に努めております。

この結果、売上高は155百万円（前年同四半期比56百万円増収）、セグメント損失は33百万円（前年同四半期はセグメント損失85百万円）となりました。

④ 不動産関連事業（ビルメンテナンス業、不動産賃貸業）

当事業につきましては、ビルメンテナンスの営業強化による売上拡大と安定した顧客の確保により、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は353百万円（前年同四半期比2百万円減収）、セグメント利益は82百万円（前年同四半期はセグメント利益84百万円）となりました。

引き続き、当社の保有の不動産の有効活用を進めていき、長期安定収入を追求していきます。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、14,607百万円と前連結会計年度末に比べ168百万円減少しました。

これは主に、商品及び製品が448百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が246百万円、その他の流動資産が143百万円、有形固定資産が101百万円減少したことによるものであります。負債合計は11,604百万円と前連結会計年度末に比べ107百万円増加しました。これは流動負債が222百万円増加し、固定負債が114百万円減少したことによるものであります。純資産合計は当第3四半期連結累計期間の業績を反映し275百万円減少して3,002百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は1.7ポイント減少して20.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況や今後の市場動向を勘案し、前回（平成27年6月19日）公表した平成28年4月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年3月11日）付けで別途開示しております「業績予想の修正及び子会社の繰延税金資産取崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッ
シュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フロー
については、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連
費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フロ
ーは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,496,023	1,466,734
受取手形及び売掛金	1,722,662	1,476,600
商品及び製品	2,845,582	3,294,017
原材料及び貯蔵品	14,158	14,024
繰延税金資産	26,880	19,020
その他	928,708	785,606
貸倒引当金	△30,961	△30,428
流動資産合計	7,003,053	7,025,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,160,460	1,090,153
土地	4,147,261	4,147,261
リース資産(純額)	617,479	695,149
その他(純額)	642,288	533,429
有形固定資産合計	6,567,489	6,465,993
無形固定資産		
その他	17,855	17,250
無形固定資産合計	17,855	17,250
投資その他の資産		
投資有価証券	101,128	57,566
長期貸付金	70,400	96,617
差入保証金	614,474	550,524
繰延税金資産	106,642	59,483
その他	324,297	344,258
貸倒引当金	△29,411	△9,409
投資その他の資産合計	1,187,532	1,099,041
固定資産合計	7,772,877	7,582,284
資産合計	14,775,931	14,607,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,324,715	2,484,980
短期借入金	6,167,205	6,251,369
1年内返済予定の長期借入金	344,256	234,286
1年内償還予定の社債	30,000	-
リース債務	301,922	349,134
未払法人税等	11,206	19,165
賞与引当金	118,183	53,637
その他	734,301	861,433
流動負債合計	10,031,792	10,254,006
固定負債		
長期借入金	557,488	389,180
リース債務	360,419	398,046
繰延税金負債	14,537	1,877
役員退職慰労引当金	86,503	91,598
退職給付に係る負債	410,822	435,032
その他	35,904	35,236
固定負債合計	1,465,675	1,350,972
負債合計	11,497,467	11,604,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,423,469	2,165,588
自己株式	△48,949	△48,969
株主資本合計	3,248,270	2,990,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,352	9,758
その他の包括利益累計額合計	27,352	9,758
新株予約権	2,842	2,755
純資産合計	3,278,464	3,002,881
負債純資産合計	14,775,931	14,607,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
売上高	28,828,056	24,442,546
売上原価	24,767,970	20,198,760
売上総利益	4,060,086	4,243,786
販売費及び一般管理費	4,447,174	4,431,918
営業損失(△)	△387,087	△188,132
営業外収益		
受取利息	1,518	1,467
受取配当金	1,872	1,312
受取手数料	53,887	49,757
その他	12,476	24,968
営業外収益合計	69,755	77,505
営業外費用		
支払利息	48,180	45,725
その他	6,405	15,642
営業外費用合計	54,585	61,368
経常損失(△)	△371,917	△171,995
特別利益		
新株予約権戻入益	-	87
投資有価証券売却益	-	18,661
特別利益合計	-	18,748
特別損失		
固定資産売却損	23	35
固定資産除却損	6,884	2,560
特別損失合計	6,907	2,596
税金等調整前四半期純損失(△)	△378,824	△155,843
法人税、住民税及び事業税	11,730	20,924
法人税等調整額	△61,902	49,788
法人税等合計	△50,172	70,712
四半期純損失(△)	△328,652	△226,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△328,652	△226,555

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
四半期純損失(△)	△328,652	△226,555
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,752	△17,593
その他の包括利益合計	△1,752	△17,593
四半期包括利益	△330,404	△244,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△330,404	△244,149
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,904,292	14,496,531	97,457	329,774	28,828,056	—	28,828,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	112,159	13,390	1,324	26,891	153,766	△153,766	—
計	14,016,452	14,509,921	98,782	356,666	28,981,822	△153,766	28,828,056
セグメント利益又は損失 (△)	△69,430	△218,277	△85,503	84,347	△288,864	△98,223	△387,087

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△98,223千円には、セグメント間取引消去75,315千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△173,538千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,462,443	14,497,560	154,270	328,270	24,442,546	—	24,442,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	93,879	16,133	1,341	25,459	136,814	△136,814	—
計	9,556,323	14,513,694	155,612	353,729	24,579,361	△136,814	24,442,546
セグメント利益又は損失 (△)	△84,297	△55,656	△33,270	82,029	△91,193	△96,938	△188,132

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△96,938千円には、セグメント間取引消去87,776千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△184,714千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。